



志高く!

教育目標
 「志高く 遅しく 切り拓く」
 生徒会スローガン
 「麻生中ABCD+」
 「考・動・皆・志」

◆麻生中学校だより◆
 Tel 80-8070
 Fax 77-0840
<http://www.sopia.or.jp/n-asojh/>
 行方市南327の3
 令和2年8月6日発行
 令和2年度 第11号

◆修学旅行・宿泊学習中止に伴う3年生への話◆

8月4日付け行方市教育委員会からの文書でお知らせしたとおり、新型コロナウイルス感染症感染予防のため、今年度の修学旅行と宿泊学習が中止となりました。同日、3年生には校長、2年生には教頭、1年生には学年担当からその理由等を伝えました。以下に3年生への話を載せます。

それでは、少し時間をいただいてお話しします。これからする話は、残念ながら、我々にとってよろこばしい内容ではありません。それは、9月13日から二泊三日で予定していた奈良・京都方面の修学旅行が、皆さんそして先生方、状況によっては皆さんの家族の方の健康、安全・安心を第一に考え、中止になってしまったという内容だからです。また、1・2年生の宿泊学習も中止となってしまいました。そして、この対応は、行方市内全小・中学校同様です。

現在、総合的な学習の時間等を使って修学旅行の様々な計画を立てたり、準備をしたりしているところだと思しますので、本当に残念です。ただ、これまでの準備は決して無駄ではありません。必ず役立つ時が来るはずですよ。

これまで、どうにかして、修学旅行を実現しようと、東京経由で新幹線を利用することを止め、茨城空港から飛行機での移動に変更したり、京都での班別行動を電車やバスなどの公共交通機関からタクシーを利用することに変更したり、また、皆さん一人一人に感染予防セットを配付する準備をしたりするなど、我々ができること、考え得ることはしてきたつもりですが、残念な結果となってしまいました。

中止となった理由としては、大きく三つあります。一つ目は、感染状況が全国的に広がり、収束に向かう状況が見えないことです。実際に、京都の感染者数は日々増加傾向にあり、この後の夏休みやお盆での移動、そして「Go to Travel Campaign」の実施状況を考えると危険性は一層高まるのでは無いかと思っています。二つ目は、宿泊を伴う修学旅行は、皆さんが不特定多数の人々と接触する機会が増えるため、感染症対策を講じても、なお、感染の可能性が高いということです。例えば、奈良に行って大仏を見学するとすると、大仏殿の中に入らなければならないため、かなりの高密度となります。しかし、外からでは大仏は見学できません。この例のように様々な見学場所の限られた空間で、各地から訪れる他校の生徒や見ず知らずの大人と接触することになってしまうということです。そして、三つめは、旅行先で発熱者や感染者が確認された場合の対応が困難であることです。もし、感染が疑われた場合、2～3週間は戻ってこれません。また、一緒に居た生徒や先生方も、濃厚接触者としてPCR検査を受けることになると思います。

修学旅行は、生涯に渡って思い出に残る行事であり、私も、皆さんが、奈良や京都の歴史的な建造物などを見学し、驚いたり、感心したり、笑ったりする姿をたくさん見られることを楽しみにしていました。ですから、中止することは心苦しい限りであり、本当に申し訳なく思っています。皆さんも悔しい思い、悲しい思いでいっぱいだと思います。しかし、様々な行事ができなくても、皆さんには、これまでと同じように輝いて欲しいと思います。先日の総体の代わりに交流試合、日程の都合で全試合とはいきませんが、全部活動の応援をしました。その時にも皆さんのすばらしさを再認識することができ、私自身もよい思い出を増やすことができました。

うまく伝えられるかどうか分かりませんが、どのような状況でも前向きに胸をはってがんばれる皆さんであってほしいし、それができると信じています。我々先生達も、新型コロナウイルス感染症対策という避けられない状況と条件の中、全力で皆さんを応援していきます。そして、3月11日の卒業式には、ここにいる全員が、希望する進路を実現し、笑顔で麻生中学校を巣立って行って欲しいと心から思っています。

修学旅行の中止は決定してしまいましたが、中学校生活は残り約8ヶ月あります。不安な思いもあるとは思いますが、まずは目の前の出来事、時間を精一杯頑張りたいってほしいこと、そして間もなく始まる夏休みを安全で有意義な期間にしてほしいということをお願いし、話を終わります。



校長のつぶやき

「今年は季節感が無い」この話題をよく耳にします。今日8月6日は当初の予定では、総体の関東大会が行われていました。本来であれば、恐らく応援に出掛け、声をからしていたことと思います。さて、いよいよ明日から夏休みです。期間中には日本の伝統的な年中行事である「お盆」があります。季節感を取り戻すよい機会となればと思っています。有意義な夏休みをお過ごしください。(文責：栗原秀雄)

